



医学部附属病院医務課入院掛 平成6年度採用

◆ 08:30 出勤

その日に退院する患者さんの請求書を出力するため、退院計算にとりかかる。病棟や様々な部署との連絡や確認を電話でとりながら請求書を出力していく。

◆ 12:00 昼休み

職場のみんなとワイワイしゃべりながら昼食をとる。病院は若い女性職員が多いので、にぎやかな雰囲気で昼休みをすごせます。

◆ 13:00

仕事再開。今日は入院中の患者さんに請求書を配る日。受け持ちの診療科の病棟に請求書を配りに行く。入院費について患者さんからの質問に対応する。

◆ 14:00 デスクにて仕事

入院中の患者さんの会計データを入力。医師や看護師からの問い合わせや、患者さんからの問い合わせにも対応。

◆ 16:00 病棟クランクとの打ち合わせ

診療報酬に関して、算定もれになっている事項や算定ルールについて確認する。診療報酬請求の精度向上はもちろん、病院収入向上のためお互いに知恵を出し合う。

◆ 17:30 退勤

仕事が終わると、職場からすぐの保育所に子どもを迎えに行く。子どもの顔を見ると一日の疲れが吹き飛びます。

◆ 京都大学を志望した理由

私が京都大学を志望した動機は、大学卒業後、就職を考えた際に自分が何をしたいのかまだ決めかねていた中で、京都大学なら自分の可能性の一つに限定せずに様々な分野の仕事に携わることができるのでは、と考えたからです。

◆ 現在の仕事について

医学部附属病院医務課にて、入院費の計算やレセプト作成など診療報酬に携わる仕事をしています。平成18年4月から診療報酬業務センター（※附属病院に診療報酬業務を集中させ、専門性の向上と業務の効率化を図ることを目的に設置されたもの）が発足し、入院掛と兼務発令されました。京都大学全体の中では特殊な業務ですが、専門性が求められ、病院収入に結びつく重要な役割を担っています。

◆ 仕事で心がけていること

医学部附属病院、その中でもとりわけ医務課は患者さんと直接接する職場であり、他部局とは違った難しさがあります。その中で私は、患者さんからの話を聞く際にはこちら側の主張を最初にするのではなく、まず患者さんの主張を聞く姿勢をもつように心がけています。以前対応した患者さんから、便箋3枚ほどになる長いお礼の手紙を頂いたことがあります。その手紙は私にとって仕事をしていく上での励みになっています。

◆ 京大職員としての今後の目標

自分が今いる部局、また京都大学全体が将来どうあるべきか、常に全体を見据えて自分なりのビジョンを持って示していける職員になりたいと思います。かつ、一人でも多くの人と知り合い、お互いに向上しあえる組織づくりに貢献できる職員になれるよう努力し続けたいです。